

研究課題名「閉塞性気道疾患バイオマーカーの探索研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

「ヒト肺の炎症性細胞の解析」に参加いただいた気管支喘息の患者さんで血液検査を受けられた方

「高齢者における認知症予防に向けた介入プログラムの開発と効果検証」に参加いただき血液検査を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：慢性閉塞性肺疾患(COPD)や気管支喘息は共に、閉塞性気道疾患といって肺機能検査では息が吐き出しにくくなる徴候(1秒率の低下)を認める病気です。症状が進むと、咳や痰などに加え、息切れや発作性の呼吸困難を来すことがあります。これらの症状の改善や、将来的な肺機能の低下を防ぐために、気管支拡張薬や抗炎症薬を組み合わせた治療が一般的には行なわれていますが、残念ながら症状のコントロールや生活の質(QOL)の改善という点ではまだ十分であるとは言えません。

最近の研究では、COPDや気管支喘息の中にも様々な症状・自然経過があることや薬剤の反応性が異なるタイプがあり、タイプごとに適した治療法が存在する可能性が示されています。そこで、本研究では、特に気道炎症や肺の構造破壊/改築という観点から、COPDや気管支喘息を再分類する試みを行なうとともに血液や痰を材料としてこれらの病型を簡便に分類・評価できるバイオマーカーの探索を目的としています。

方法：「ヒト肺の炎症性細胞の解析」あるいは「高齢者における認知症予防に向けた介入プログラムの開発と効果検証」に参加いただいた際に採取した残余検体を使用して、血清・喀痰中periostinとIL-5、IL-13、IL-33、IL-6、IL-8、IL-18、TNF- α などのサイトカイン、ケモカインを測定します。結果は、本研究ですでに集められたCOPD患者さんの検体と比較するコントロール(気管支喘息患者コントロールおよび健康者コントロール)として使用されます。

研究期間：2012年9月22日以降に採取された検体を用いて行います。全体の研究期間は、2023年7月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、喫煙歴、肺機能検査所見(1秒量、1秒率、拡散能、 β 2刺激薬に対する1秒量の可逆性、気道過敏性検査、呼吸抵抗)、喀痰白血球分画、末梢血好中球数、末梢血好酸球数、血清IgE値、呼気NO値等

試料：血液、喀痰

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科 若原恵子

住所 名古屋市昭和区鶴舞 65

電話番号 052-744-2167

FAX 番号 052-744-2176

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科 長谷川好規

住所 名古屋市昭和区鶴舞 65

電話番号 052-744-2167

FAX 番号 052-744-2176